令和4年度中堅教諭等資質向上研修（必修1－1）受講の先生方

教科指導法研修会（小・国語）に関するご連絡

担当：茅野　政徳（山梨大学）

本研修会では，これまで実践してきた国語科の授業をふり返りながら，学習指導要領を基にした小学校国語科教育の在り方を議論し，教科指導に関する資質・能力の向上をめざします。そこで，受講される先生方には，以下の課題及び要項に沿って授業実践をまとめ，報告してくださるよう，ご準備をお願い致します。

【課題】

小学校国語科における「主体的・対話的で深い学び」を意識した授業実践の報告

* 2学期に実施予定の単元の中で，「主体的・対話的で深い学び」を意識した一単元を構想・実践し，報告してください。
* 学年，内容，領域等は問いませんが，文学的文章または説明的文章の単元ですと，受講される先生方との共通理解が図りやすいかと思います。
* 今年度，国語科の授業を受け持たれていない場合には，過去の実践や単元構想をご発表いただいたり，その単元に関する実践事例をはじめ文献等で調べたことをご報告いただいたりしても構いません。

【実践報告作成要項】

* A4判両面印刷で作成してください。枚数はお任せしますが，目安としてご報告の時間はお一人あたり20分程度を予定しておりますので，考慮してください。
* 以下の様式を参考に作成してください。項目等は，変更しても構いません。

教科指導法研修会（小・国語）実践報告　〇〇小学校　お名前（　　　　　　　　）

1. 単元名・対象学年

　（例）登場人物の性格をとらえ，話し合おう・4年

1. 教材名

　（例）「白いぼうし」（あまん　きみこ作）　光村図書4上

1. 単元目標
2. 単元の評価基準
3. 主体的・対話的で深い学びについて

（1）「主体的・対話的で深い学び」の捉え

　　・「主体的な学び」，「対話的な学び」，「深い学び」について，先生のイメージやお考え，これまでに研修等で学んだことなどをお書きください。

（2）本単元における「主体的・対話的で深い学び」への試み

　　・（1）をもとに，本単元において試みた工夫や意識したポイントなどを書いてください。単元全体を文章化しても，次・時間ごとに箇条書きにしても構いません。

1. 単元の実際（〇時間扱い）

・時間ごとに，その時間の学習活動と児童の主な発言や様子を記してください。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 次・時間 | 主な学習活動 | 児童の主な発言や様子 | 「主体的・対話的で深い学び」についての考察 |
|  |  |  | ・この項目は，考察できる時間のみ記入してください。 |

1. 実践を通した成果と課題

　・５．（２）「試みた工夫や意識したポイント」に関して考察を述べてください。

　・もちろん工夫点やポイント以外の成果や課題も自由にお書きください。

　・本単元だけでなく，国語科の授業全般についての疑問や悩みなどがありましたら書き加えてください。受講なさる先生方と意見交換しましょう。

【当日の予定】

1. 日　　時　2022年12月27日（火）　9：15～12：15（受付　9：00～9：15）
2. 受　　付　山梨大学教育学部　M号館1階　M-12教室
3. 研修場所　山梨大学教育学部　LC-21
4. 研修内容　（1）受講者による実践報告　お一人20分程度

（2）グループディスカッション→グループでのまとめ　30分

　　　　　（3）グループからの報告→全体での共有化　15分

　　　　　（4）今後の授業づくりに向けて　60分

1. 準　　備　（1）実践報告は8部印刷し，当日先生方への配布をお願い致します。

　　　　　　　（2）実践報告の他に，具体的な成果物やワークシートなど参考になる資料がありましたら，ぜひご持参ください。

　　　　　　　（3）パソコンを使ったプレゼンテーションによって実践報告を行う場合には，事前にお知らせください。

1. ご質問等　研修内容や課題について質問等ございましたら，下記までご連絡ください。

　　　　　山梨大学教育学部　茅野　政徳（かやのまさのり）

　　　　　TEL：０５５－２２０－８１７６

　　　　　Email：[mkayano@yamanashi.ac.jp](mailto:mkayano@yamanashi.ac.jp)